

**製品名: TRIO ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19277**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:50-1:300, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	340kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TRIO
別名	TRIO
遺伝子 ID	7204.0
SwissProt ID	O75962
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

**背景**

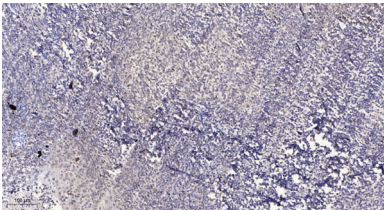
この遺伝子は、GDP から GTP への交換因子として機能する大きなタンパク質をコードしています。このタンパク質はアクチン細胞骨格の再構築を促進し、細胞の移動と成長に関与しています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。

[RefSeq 提供、2015 年 12 月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。 ,ドメイン: N 末端の DBL/GEF ドメインは、RAC1 のヌクレオチド交換を特異的に触媒し、Jun キナーゼの活性化と膜ラッフルの形成につながります。 2 つ目の DBL/GEF ドメインは rhoa の交換因子であり、ストレスファイバーの形成を誘導します。 ,機能: GTP による GDP の交換を促進します。 白血球抗原関連 (LAR) タンパク質とともに、細胞の移動と成長に必要な細胞マトリックスと細胞骨格の再配置を調整する役割を果たす可能性があります。 ,PTM:セリン残基がリン酸化されています。 ,類似性:タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。 CAMK Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。 ,類似性: 1 つの CRAL-TRIO ドメインを含みます。 ,類似性: 1 つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。 ,類似性: 1 つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。 ,類似性: 2 つの DH (DBL 相同) ドメインを含みます。 ,類似性: 2 つの PH ドメインを含みます。 ,類似性: 2 つの SH3 ドメインを含みます。 ,類似性: 4 つのスペクトリン繰り返しを含みます。 ,サブユニット: 白血球抗原関連タンパク質と相互作用して複合体を形成します。 ,組織特異性: 心臓、骨格筋、脳、脾臓、胎盤、肝臓、腎臓、肺で高発現します。 ,

## 研究分野

シグナル伝達; シグナル伝達経路; G タンパク質シグナル伝達; 低分子 G タンパク質; 調節因子; タンパク質リン酸化; Ser/Thr キナーゼ; その他のキナーゼ

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。